



# 「インパクト企業の資本市場における情報開示 及び対話のためのガイダンス」のご紹介

GSG国内諮問委員会 インパクトIPOワーキンググループ 副座長/  
インパクト・キャピタル（株）代表取締役 ホアン チンメイ 黄 春梅

2024年8月1日

- 1. ガイダンス策定の背景と目的**
- 2. インパクトIPOワーキンググループの概要**
- 3. ガイダンスの概要**
- 4. 今後の展開**

# 1. ガイダンス策定の背景と目的

## 背景

- 持続可能な社会の実現に向けた社会・環境課題解決の重要性の高まり
- 課題解決に向けて、企業による技術の実装やビジネスモデルの変革（イノベーション）が必要不可欠
- 一方で、事業成長を伴いながら、社会的・環境的インパクトの創出を意図するインパクト企業が、資本市場を活用し、持続的な企業価値の向上を図ろうとする際には様々な課題が存在
  - 多様な思想や戦略を持つ投資家との対峙
  - インパクトの評価に関わる視点やツール、建設的な対話に寄与する情報開示のあり方などが、未だ発展途上の段階
  - 上場前後のプロセスにおけるインパクト企業の経営マネジメントに社会・環境課題の解決によるインパクト創出の観点を組み込むことについてのガイダンスは確認されていない など

## 目的

- インパクト企業が未上場の段階から、上場を経て、上場後もインパクトを創出しながら持続的な企業価値向上を実現できるよう、**インパクト企業と投資家をはじめとする資本市場の関係者との間において、情報開示等を通じて共通理解を醸成し、建設的な対話を促すこと**

## 2. インパクトIPOワーキンググループ（WG）の概要

# インパクトIPO WG委員等の構成 (2024年1月22日現在)

<b>座長</b>	白石智哉 GSG国内諮問委員会委員／フロネシス・パートナーズ株式会社 代表取締役社長
<b>副座長</b>	黄春梅 GSG国内諮問委員会委員／新生企業投資株式会社 インパクト投資チーム マネージングディレクター
<b>委員</b> (24名)	<p><b>(公募採択された企業 7社)</b></p> <p>石川 孔明 ライフイズテック株式会社 取締役CFO/ Impact Officer          大塚 泰造 株式会社雨風太陽 取締役 人流創出部門長          酒井 里奈 株式会社ファームステーション 代表取締役          田中 はる奈 五常・アンド・カンパニー株式会社 経営企画部長          浜田 洋平 自然電力株式会社 ファイナンス&amp;サステナビリティ スペシャリスト          久納 裕治 株式会社CureApp コーポレート統括取締役/CFO          前川 裕貴 アクセリード株式会社 取締役執行役員 CFO</p> <p><b>(未上場・上場株式の投資家)</b></p> <p>井浦 広樹 りそなアセットマネジメント株式会社 株式運用部 チーフ・ファンド・マネージャー          岩谷 渉平 アセットマネジメントOne株式会社 運用本部株式運用グループ チーム長          菊池 勝也 東京海上アセットマネジメント株式会社 ESGスペシャリスト          末吉 光太郎 GSG国内諮問委員会委員／みずほフィナンシャルグループ サステナブルビジネス部 副部長          中村 将人 GLIN Impact Capital 代表パートナー          山岸 広太郎 株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ 代表取締役社長          山中 礼二 一般財団法人KIBOW KIBOW社会投資ファンド 代表パートナー (グロービス経営大学院 教員)</p> <p><b>(証券会社)</b></p> <p>池川 忍 大和証券株式会社 公開引受第一部長          石田 輝彦 野村証券株式会社 サステナブル・ファイナンス部 兼 IBビジネス開発部 マネージング・ディレクター          倉本 敬治 株式会社SBI証券 執行役員常務 公開引受部長          酒井 久和 SMBC日興証券株式会社 プライベート・コーポレート・ファイナンス本部 副本部長 マネージング・ディレクター          高橋 照典 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 投資銀行本部 スタートアップ・アクセラレーション室長          和田 正嗣 みずほ証券株式会社 サステナビリティ推進部 サステナビリティ・ストラテジスト</p> <p><b>(監査法人)</b></p> <p>藤原 選 EY新日本有限責任監査法人 企業成長サポートセンター IPOグループ統括 パートナー 公認会計士</p> <p><b>(有識者)</b></p> <p>安間 匡明 一橋大学客員教授／福井県立大学客員教授          今田 克司 一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ (SIMI) 代表理事          竹林 正人 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科講師</p>
<b>オブザーバー</b>	<p>経済産業省 経済産業政策局 新規事業創造推進室長 富原 早夏          金融庁 総合政策局 総合政策課 サステナブルファイナンス推進室長 西田 勇樹          環境省 環境経済課 環境金融推進室 室長補佐 水野 紗也          株式会社東京証券取引所 上場推進部長 荒井 啓祐</p>

主催	GSG国内諮問委員会（現GSG Impact Japan）
事務局	社会変革推進財団（SIIF）インパクト・エコノミー・ラボ
期間	2023年7月～11月までの毎月計5回開催
委員構成	前のページに記載
各回の議論テーマ	<p>第一回（2023年7月28日）： IPO時の開示フレームワークに期待する具体的な内容・効果</p> <p>第二回（2023年8月23日）： インパクトの追求と成長、インパクト企業の成長を後押しするための中長期 施策、ガイダンス普及案</p> <p>第三回（2023年9月29日）： インパクト追求を支えるサステナビリティ経営と情報開示</p> <p>第四回（2023年10月25日）： IPO時における情報開示</p> <p>第五回（2023年11月30日）： ガイダンス案</p>



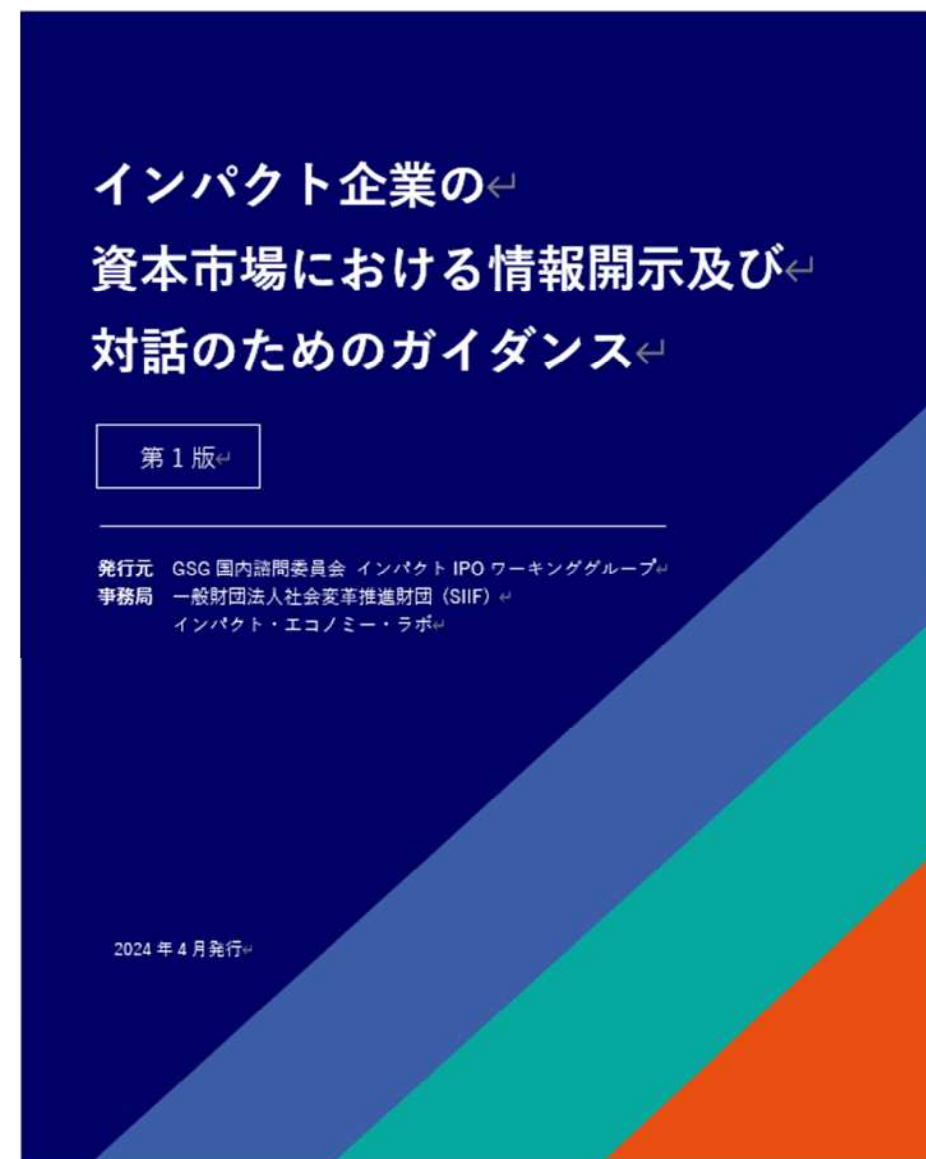
### 3. ガイダンスの概要

## 目次構成

1. 背景
2. 目的
3. 本ガイダンスの対象と位置付け
4. 本ガイダンスにおける基本的な考え方
5. 「ポジティブ・フィードバック・ループ」を加速させるための4ステップ

## Appendix

1. IIRC の 6 つの資本
2. 参考
3. 開示されることが望ましい項目と開示媒体の関係性



# 3. ガイダンスの概要

## 目的

- インパクト企業が未上場の段階から、上場を経て、上場後もインパクトを創出しながら持続的な企業価値向上を実現できるよう、**インパクト企業と投資家をはじめとする資本市場の関係者との間において、情報開示等を通じて共通理解を醸成し、建設的な対話を促すこと**

## 対象

- **3つの意図を持つインパクト企業**
  - インパクトの創出
  - 収益の創出
  - 資本市場を活用し、投資家との建設的な対話を通じた企業価値の持続的な向上
- **投資家をはじめとする資本市場の関係者**

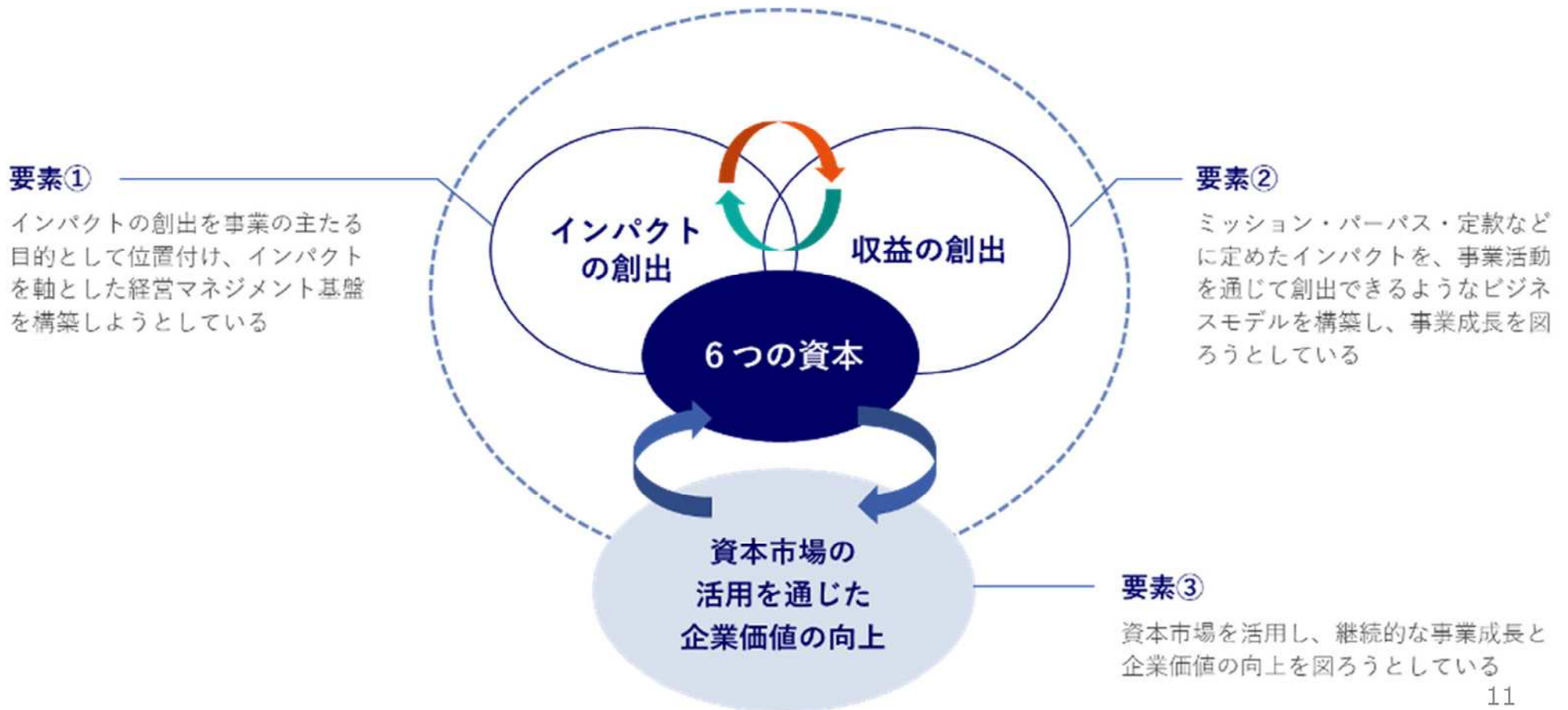
## 位置付け

- インパクト企業が**参照しうるもの**として作成
- 本ガイダンスに基づく開示を行う場合には、開示文書等においてその旨を明記することを推奨
- 4つのステップについて継続的に取り組みを行う過程で上場を実現する場合を「インパクト IPO」と称し、本ガイダンスに基づく「インパクト IPO」を行った場合には、開示文書等においてその旨を明記することを推奨

### 3. ガイダンスの概要

#### ポジティブ・フィードバック・ループ

- 本ガイダンスは、インパクト企業が上場前から上場後の一連の過程において、「**ポジティブ・フィードバック・ループ**」を加速させるための戦略策定から情報開示／対話までの4つのステップを、同企業や資本市場関係者が取り組みを進める際に参照しうるものとして作成
- ポジティブ・フィードバック・ループとは、資本市場からの評価を高めながら企業価値の向上を実現し、それがさらにインパクトの創出や収益の創出に繋がり、持続的な成長を可能とする循環のことを示す

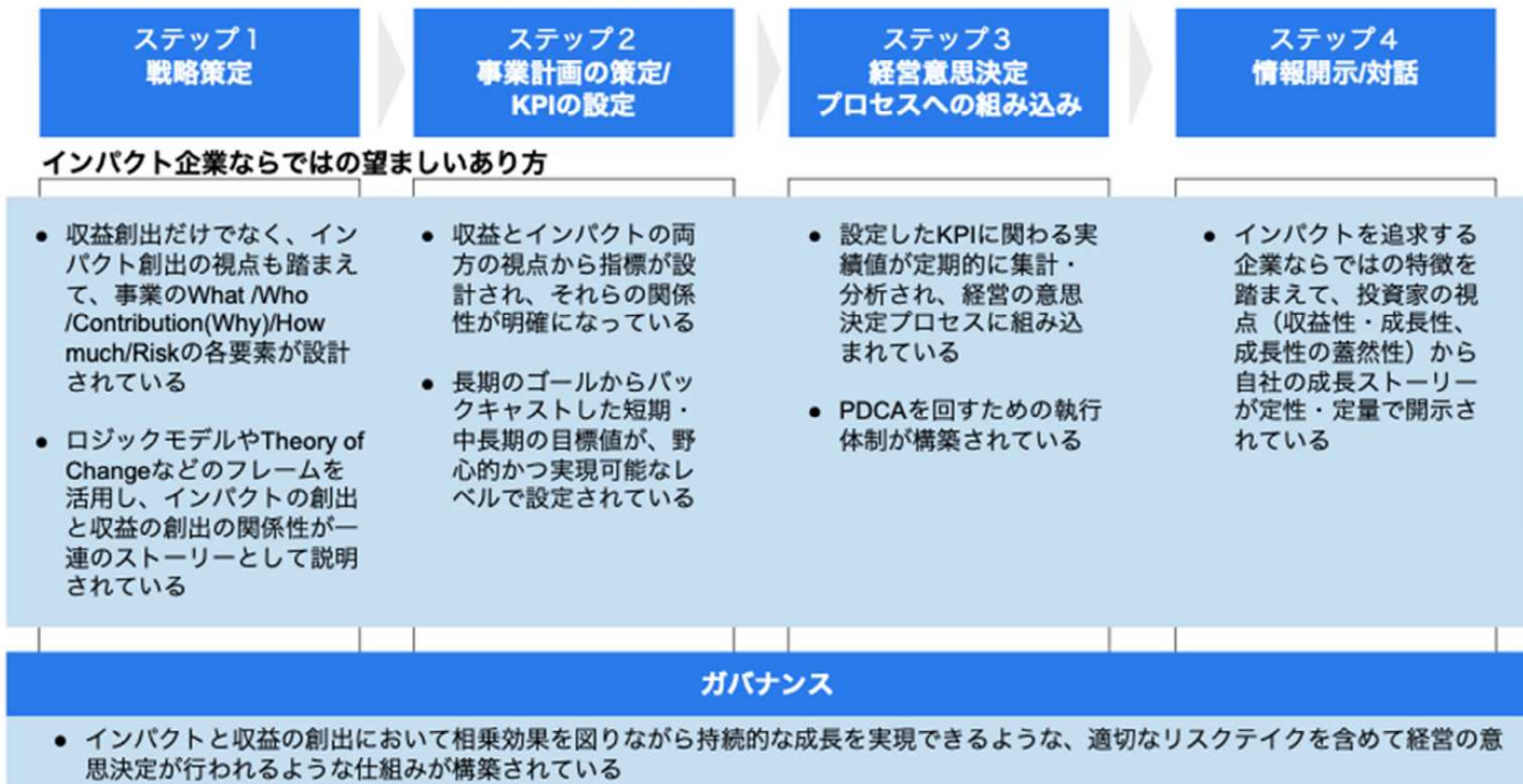


# 3. ガイダンスの概要

## ポジティブ・フィードバック・ループを加速させる4つのステップ

- IMMの概念を企業の経営マネジメントにおいてどのように捉えて実践していくかを示したものの
- 仮説検証を繰り返し継続的にブラッシュアップされることを想定

### ポジティブ・フィードバック・ループを加速させるための4ステップ



## 4. 今後の展開

## 4. 今後の展開

- 同ガイダンス第1版を公開後、説明会の開催などを通じて、インパクト企業や資本市場関係者による本ガイダンスを参照した取組みを推進
- 取組み事例や活用フィードバックが十分に積み上がった段階で、さらに本ガイダンスを改善することを目指す

**ご清聴ありがとうございました**